

HD-TVI対応4chレコーダー

SMT21R421 簡単ガイド 保証書付

(注) この製品は犯罪防止システム品ではありません。空き巣、強盗、変質者の侵入等の犯罪による損失、損傷等が発生しても、当社は一切責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

本書は基本的な設定のみ記載しております。詳しい内容については、次のページのQRコードより詳細設定ガイドをご覧ください。

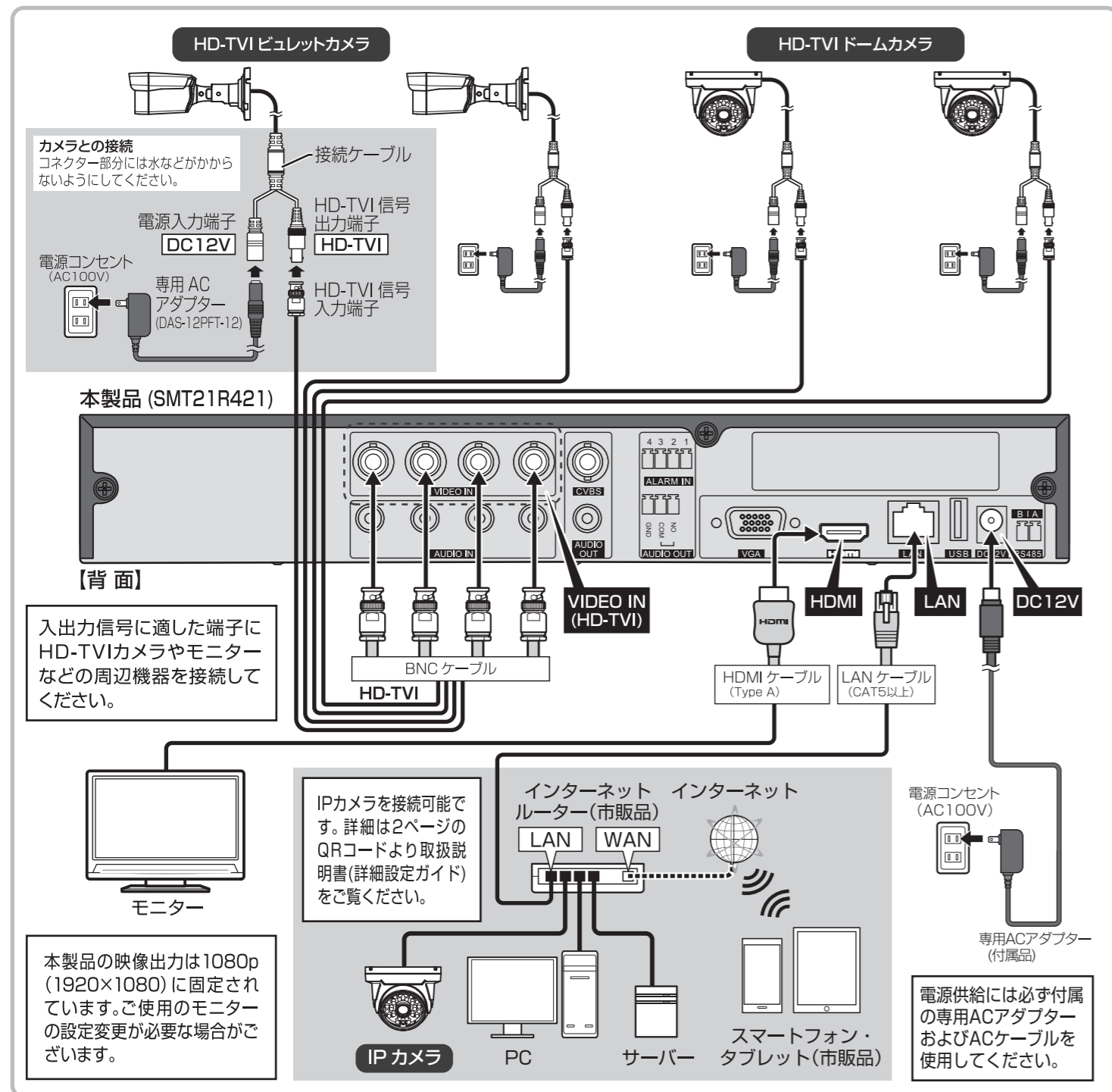
1 セット内容

- 本体 × 1
- ACアダプター × 1
(ケーブル長 1.2m)
- マウス × 1
- 簡単ガイド × 1
(本書)
- リモコン × 1
※電池2本(単4)は市販品をご購入ください。
- ブロック端子 × 3
・2ピン: RS485用
・3ピン: リレー出力用
・4ピン: センサー入力用
- CD-ROM × 1
・遠隔監視ソフト

2 はじめに接続する(接続例)

注) ・本製品には、カメラおよび接続ケーブル類等は付属していません。
・接続する際は、すべての機器の電源を切った状態で行なってください。

HD-TVIカメラ4台とIPカメラ1台の接続例を下記に示します。



3 起動と電源オフ

【目的】
レコーダーを長く使用していただくため、適切な方法で起動と停止を行なうことが極めて重要です。

■レコーダーの起動

- 【手順】**
- 電源プラグをコンセントに差し込むと電源 (POWER) LED が青点灯して、起動を開始します。停電時に録画停止しないよう無停電電源装置 (UPS) を使用することを強く推奨します。
 - 初回起動時は、セットアップウィザード(4)が自動的に起動します。セットアップ済みの時はライブ画面(5)が表示されます。

■レコーダーの電源オフ (図3.1)

- 【手順】**
- ステータスバーのFUNCボタン→システム→電源オフをクリックします。
 - ポップアップ画面が表示されたらはいをクリックします。
 - 自動的に電源がオフになります。



図 3.1 ステータスバーから電源オフ

■レコーダーの再起動

電源オフメニュー(図3.1)では、レコーダーの再起動も可能です。

- 【手順】**
- ステータスバーのFUNCボタン→ログアウトをクリックしログアウトするか、FUNCボタン→システム→再起動をクリックします。
 - ポップアップ画面が表示されたらはいをクリックします。
 - 自動的に再起動になります。

4 セットアップウィザードの基本設定

【目的】
初期設定では、レコーダーが起動するとセットアップウィザードが起動します。これに従って基本設定を完了できます。次へを選択すると次の手順に進み、前へをクリックすると前の手順に戻ります。セットアップウィザードを使用しない場合は終了をクリックします。

■言語の選択 (図 4.1)

- 【手順】**
- 言語を選択します。(初期値: 日本語)
ステータスバーのFUNCボタン→システム→セットアップウィザードを起動して言語を選択します。
 - 適用ボタンを選択します。

※ 初回レコーダー起動時に再度セットアップウィザードを起動したい場合は、「システム起動時、ウィザードを開始する。」のチェックボックスで、次回起動時のセットアップウィザードの有無を選択します。

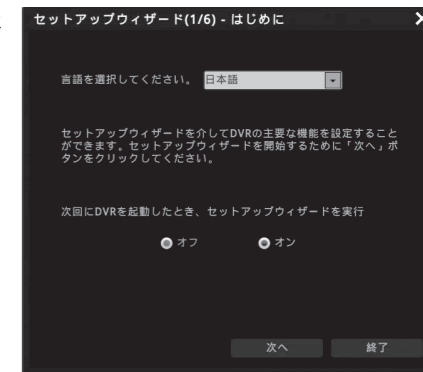


図 4.1 言語選択

■ネットワーク設定 (図 4.2)

- 【手順】**
- デジタルビデオレコーダーのIPアドレスを設定します。
設定する値はネットワーク管理者に確認してください。ネットワークの設定をスキップボタンで後から設定することもできます。

【初期値】	
DHCP	オフ
IPアドレス	192.168.0.2
ネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイ	192.168.0.1
DNS	4.2.2.1
ポート	80

- テストボタンで確認します。
ネットワークの設定が終了したら、正常にネットワークに接続できたかを確認するためにテストボタンをクリックします。テスト結果によって、下記の様なメッセージが表示されます。
・ネットワーク正常 = ゲートウェイとの通信に成功しました。
・ネットワーク異常 = ゲートウェイと通信することができません。

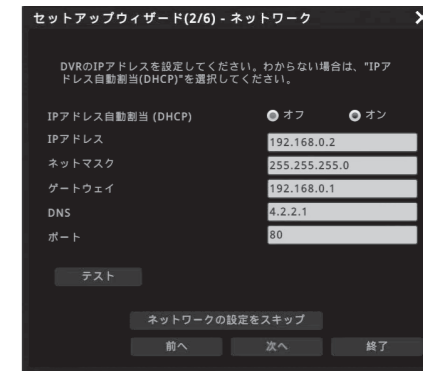


図 4.2 ネットワーク設定

■DDNS設定 (図 4.3)

- 【手順】**
- デジタルレコーダーのDDNSの設定を行います。
DDNSの設定をスキップボタンで後から設定することもできます。利用するドメイン名を入力します。ドメイン名は任意に決めることができます。

- 入力が完了したらドメイン作成ボタンをクリックしてください。
「成功」と表示されたら登録完了です。成功しない場合は、別のドメイン名を入力して再度登録を試みてください。

- ドメイン「テスト」終了後の接続方法
- ブラウザのアドレスバーに-http://ドメイン名.mycam.toを入力してください。
 - モバイルアプリは(webeye)-ドメイン名.mycam.toを入力してください。
 - PCアプリ(Control Center)-ドメイン名.mycam.toを入力してください。



図 4.3 DDNS設定

4 セットアップウィザードの基本設定(つづき)

■日付と時間設定 (図 4.4)

【手 順】

1. **タイムゾーン**
UTC 09:00 Osakaに設定します。
2. **夏時間 (DTS)**
サマータイムの設定ができます。
3. **日付表示**
日付表示のフォーマットが選択できます。
月/日/年、日/月/年、年/月/日

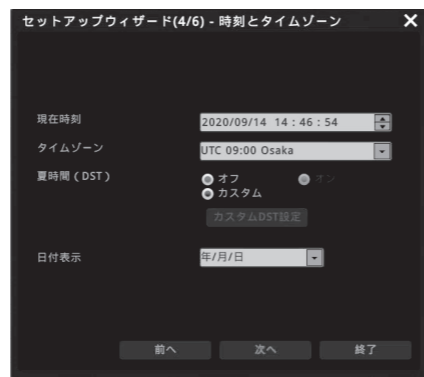


図 4.4 日付と時間設定

■ハードディスクドライブ (図 4.5)

【手 順】

接続されたハードディスクドライブは自動的に検出されてリストに表示されます。
(初期値：ATA WDC WD20PUR)

ハードディスクドライブを選択して、**有効化とフォーマット**ボタンをクリックして、
選択したハードディスクドライブをフォーマットして録画開始させます。
「有効」の欄が「はい」と表示されることを確認します。

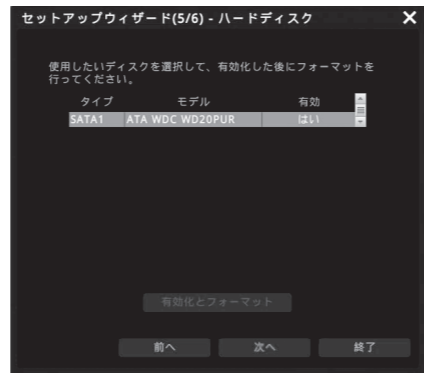


図 4.5 ハードディスクドライブ

■録画モード (図 4.6)

【手 順】

セットアップウィザードでは3種類の録画モードを簡単に設定できます。(初期値：全て録画)

1. **一般録画：1コマ/秒、モーション検知15コマ/秒 (推奨)**
動きのない映像の場合1コマ/1秒、画面内で動きのあった場合15コマ/秒で録画します。
2. **モーション検知：15コマ/秒**
画面内に動きのない場合は録画しません。画面内に動きのある場合のみ15コマ/秒の録画を行います。
3. **全て録画：30コマ/秒**
全チャンネルを常時30コマ/秒で録画します。

※ **セットアップウィザードの完了**ボタンをクリックし、「変更をセーブしますか?」のメッセージが表示されたら、**はい**をクリックしてセットアップを終了します。

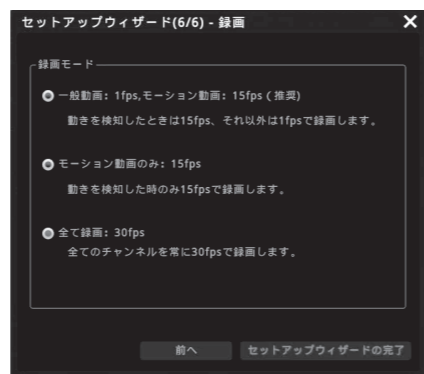


図 4.6 録画モード

5 ライブモニタリング

■多画面 (図 5.1)

基本画面は4分割画面表示です。レコーダーにACアダプターを接続して電源を入れると自動でライブ画面が表示されます。

マルチボタンをクリックして、マルチスクリーンモードより見たい画面を選択します。

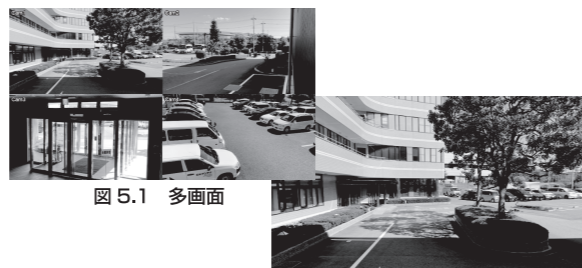


図 5.1 多画面

■単画面 (図 5.2)

4分割画面表示の状態から、拡大して見たいチャンネルの上でマウスの左ボタンをダブルクリックすると、そのチャンネルが単画面で表示されます。

4分割画面に戻すには、**マルチ**ボタンをクリックして任意の分割画面を選択します。

図 5.2 単画面

6 操作画面

■メニュー操作 (図 6.1)

本製品の機能はマウスを使って操作することが可能です。ライブ画面が再生画面上でマウスを右クリックするとファンクションメニューを開くことができます。

ライブ画面のファンクションメニュー

項目	説明
検索	録画されたデータの検索と再生
コピー	録画データのコピー (バックアップ)
ツール	さまざまな操作へのショートカット (下図参照)
情報	各種設定情報の一覧表示
システム	設定メニューの起動、システムの起動・終了

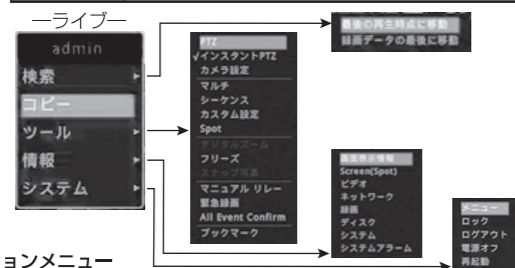
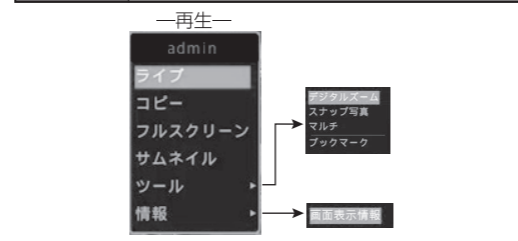


図 6.1 ファンクションメニュー

検索/再生のファンクションメニュー

項目	説明
ライブ	ライブ画面への移動
コピー	録画データのコピー (バックアップ)
フルスクリーン	映像をフルサイズで画面表示
サムネイル	サムネイル検索の実行
ツール	さまざまな操作へのショートカット (下図参照)
情報	画面表示設定



6 操作画面(つづき)

■メインメニュー画面 (図 6.2)

画面下部のステータスバーの**FUNC**ボタンをクリックするか、マウスを右クリックして〔システム→メニュー〕と操作します。設定メニューを終了する場合は画面の右上の「X」をクリックしてください。

メインメニュー

最上部のアイコンで、設定のジャンルが区分されています。設定ジャンルはシステム/ネットワーク/デバイス/イベント/録画です。各ジャンルではサブメニューが表示されます。

サブメニュー

サブメニューはタブごとに区分されています。各メニューで設定を変更したら、必ず**変更を保存**ボタンをクリックして変更を反映させます。



図 6.2 メインメニュー

■ステータスバー (図 6.3)

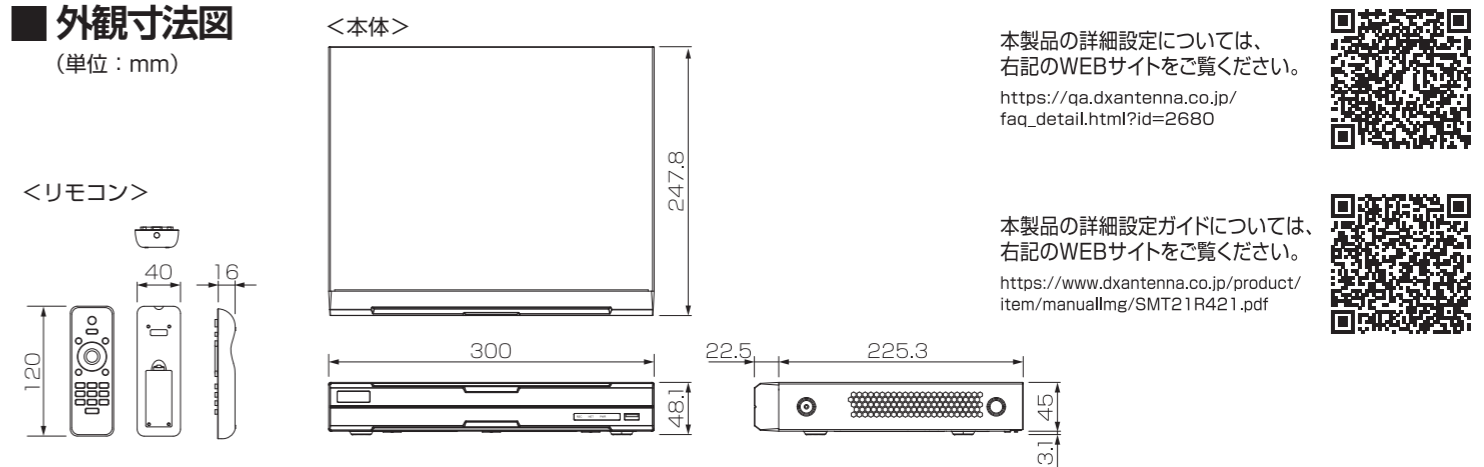
画面下部に表示されるステータスバーがデジタルビデオレコーダーの状態を表示します。ステータスバーは現在時刻、緊急録画状況、録画状況、モーション検知状況、センサー、ハードディスク使用量、自動非表示の状況を表示します。「自動非表示」はステータスバーを自動的に隠す機能です。



図 6.3 ステータスバー

■外観寸法図

(単位：mm)



本製品の詳細設定については、
右記のWEBサイトをご覧ください。
https://qa.dxantenna.co.jp/faq_detail.html?id=2680



本製品の詳細設定ガイドについては、
右記のWEBサイトをご覧ください。
<https://www.dxantenna.co.jp/product/item/manual/mmg/SMT21R421.pdf>



※ この製品を処分するときは、地方自治体のルールにしたがって処理してください。

保証書

●無料修理規定

※本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管ください。

1. 本保証書は、お買い上げから下記保証期間内に故障した場合、無料修理規定により、当社が責任をもって無料修理を行うことをお約束するものです。(消耗部品は除く) したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
2. 保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明な場合は、お買い求めの販売店、当社営業所またはカスタマーセンターにお問い合わせください。なお、商品を直接当社へ送付した場合の送料などはお客様のご負担とさせていただきます。また、保証期間経過後の修理についても、お買い求めの販売店、当社営業所またはカスタマーセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。
3. 保証期間中、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い求めの販売店を通じて無料修理いたしますのでお申し付けください。
4. 次のような場合には保証期間内でも有料修理となります。
①ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。②お買い上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷。③火災、地震、噴火、洪水・津波などの水害、落雷、その他の天変地異、戦争・暴動による破壊行為、公害、塩害、ガス害、ねずみや昆虫、鳥など動物の行為による損傷、指定以外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障および損傷。④塗装の色あせなどの経年劣化や、使用に伴う摩擦などにより生じる外観上の現象。⑤用途以外(例えば車両、船舶への搭載など)に使用された場合の故障および損傷。⑥本保証書を提示・添付されていない場合。⑦本保証書にお買い上げ年月日、お客様名、お買い求めの販売店の記入のない場合、または字句を書き換えられた場合。
5. 製品対価以上の保証はいたしません。
6. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。(This Warranty is valid only in Japan.)
7. 期間中の転居、贈答品、その他の理由によりお買い求めの販売店に修理が依頼できない場合には、当社カスタマーセンターまたは当社営業所にご相談ください。
8. お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

型番 SMT21R421		お買上年月日 年 月 日		保証期間 お買上日から 1 年 間
ご住所・ご店名 ご販売店		お名前 ふりがな		様
電話 ()		お客様 ご住所 〒□□□□□□ □□□□□□ 電話 ()		

カスタマーセンター **0570-033-083** (1908)
 ※全国一律料金でご利用いただけます。
 ※携帯電話・PHSからもご利用いただけます。
 ※ナビダイヤルは各社音声通話定額サービスの対象外となっております。
DXアンテナ株式会社 受付時間 9：30～17：00 (夏季・年末年始休暇は除く) **ホームページアドレス**
 6076-2 一部のIP電話で上記番号がご利用になれない場合：050-3818-9016 <https://www.dxantenna.co.jp/>